



きたまち

わたしたちは
北海道の
暮らしたいまち
オンリーワンづくり
を目指します

一般社団法人 北海道まちづくり協議会 2015 年度 活動報告書

一般社団法人 北海道まちづくり協議会

2015年度活動報告書 (2015.4.1～2016.3.31)

ごあいさつ | 01

主な年間活動 | 02

- 主な年間活動 | 02
- 平成27年度 第1回通常総会 | 03

まちづくり支援事業 (実践活動研究会) | 04

- 1号研究会 ● 防災・減災研究会 | 04
 - マンション建替え支援研究会 | 05
 - 地域マネジメント研究会 | 06
 - 再開発マニュアル研究会 | 07
- 2号研究会 ● 小樽駅前地区整備支援研究会 | 08
 - 恵庭まちづくり支援研究会 (受託事業) | 09

交流研修事業 | 10

- まちづくり研修会 | 10
 - 住み続けたいまち～新たな移住・定住を考える
- まちづくりゼミナール |
 - ・ もみじ台地域を事例とした郊外ニュータウンの今とこれから | 11
 - ・ スマートエネルギー社会の実現に向けた北海道ガスの取り組みについて | 12
- 会員情報交流会 | 13
 - 再開発事業の進め方 (段階毎の組織と役割) について
- 平成28年新年交礼会 | 14

情報広報関連事業 | 15

- 北まちブログ連載企画 “THE 座談会”

組織・役員 | 16

会員一覧 | 17

- 法人正会員 | 17
- 個人正会員、賛助会員、特別会員 | 18

● ご覧になりたい項目をクリックするとページに移動します

ごあいさつ



一般社団法人 北海道まちづくり協議会
会長 大石章夫

“北海道の暮らしたいまち、オンリーワンづくり”をめざして

平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定・施行され、国内の各地域・地方が、それぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会をかたちづくること、魅力あふれる地方のあり方を築くことが目標になっています。

主要な施策として、東京一極集中の解消、地域社会問題の解決、地域での就業機会の創出を、「まち・ひと・しごと創生」をキーワードに具体化していこうとのことですが、国は積極的に取組む者を支援し、実現化に向けた知恵を絞るのは地元であるという大枠の構図は、変わってはいないようです。

実現化に向けた知恵を絞る地元に対応する力がないと、取組みに消極的と判断され切り捨てられていくのも選択と集中の世の中といってしまうかもしれませんが、そんな中で協議会は、意欲はあるが力不足という地域の応援をしていきたいと思っておりますので、お気軽にお声がけください。一緒に悩み・解決していきたいと思えます。

今、協議会は、「コミュニティ再生」を活動テーマにし、「人口減少への対応」切り口として具体的な取組みに臨んでいます。人口減少→地域活力の衰退→コンパクトシティ→コミュニティ再生→地域の活性化という流れの中で、協議会の目標“北海道の暮らしたいまち、オンリーワンづくり”をめざしています。

この報告書は、平成27年度(2015年度)の協議会活動をまとめたもので、4年間の活動でのわずかですが実現成果も記録させていただいております。ご一読いただき、引き続き協議会活動にご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

主な年間活動

組織運営			
総 会	2015年5月25日	第1回 通常総会 会場：かでの2.7	
理 事 会	5月19日	第1回 理事会 会場：緑苑ビル・201号室	
	10月29日	第2回 理事会 会場：緑苑ビル・201号室	
	2016年3月22日	第3回 理事会 会場：緑苑ビル・201号室	
業 務 執 行 理 事 会	10月、3月(2016年)に、協議会事務所において開催		
専 門 部 会 連 絡 会 議	5月、6月、9月、1月(2016年)に、協議会事務所および201会議室にて開催		
他 団 体 会 議 へ の 出 席	北海道建築設計会議 10回出席 各団体活動報告等 会場：緑苑ビル・201号室		
まちづくり支援事業			
防災・減災研究会	研究会ミーティング：5回 HUG見学：1回、HUGの実践(茨戸南町内会)：1回		
マンション建替え支援研究会	研究会ミーティング：4回 マンション建替え相談会：2回		
地域マネジメント研究会	研究会ミーティング：7回		
再開発マニュアル研究会	研究会ミーティング：4回		
交流研修事業			
まちづくり研修会	9月29日 会場：札幌ユビキタス協創広場U-cala 参加者数：77名 テーマ：住み続けたいまち～新たな移住・定住を考える～		
まちづくり出前フォーラム	10月20日 会場：北見市ホテル黒部 参加者数：43名		
まちづくりゼミナール	第1回 7月28日 会場：緑苑ビル201号室 参加者数：14名 第2回 11月18日 会場：緑苑ビル201号室 参加者数：13名		
会員情報交流会	6月24日 会場：緑苑ビル201号室 参加者数：25名		
新年交礼会	2016年1月28日 会場：中村屋旅館 参加者数：41名		
情報広報関連事業			
座談会	9月18日 会場：中村屋旅館 テーマ：「人口減少時代をかんがえる」		
情報発信および管理・更新	ホームページ管理更新、北まちブログの管理更新 メールマガジン(メール INFO 配信)、活動報告書の作成		
環境取組事業			
「公益財団法人 北海道環境財団」に、当協議会の年間事業費の約1%の寄付を実施			
受託事業			
エリアマネジメントセミナー運営委託業務	【実施主体】恵庭まちづくり支援研究会(2号研究会)		

主な年間活動

平成27年度 第1回通常総会 2015年5月25日 会場: かでる2.7

平成27年5月25日(月) 18時から“かでる2.7” 710会議室にて、「平成27年度 第1回通常総会」が開催され、出席者は48名、委任状出席12名と会員数65名の9割以上の方にご出席いただきました。

議案は、平成26年度の事業報告及び収支決算承認の件であり、満場一致で承認されました。

議案中事業報告の説明では平成26年度事業の「恵み野商店街マップ作成コーディネート業務」の成果について、恵み野商店会マップ作成研究会座長の森哲子氏からの事業報告も行われました。

総会終了後は、中村屋旅館にて恒例の懇親会が行われました。



防災・減災研究会

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・被災・復興に関わる情報のストックと共有（ネットを活用した情報共有） ・各種専門分野等の専門家を招いた勉強会の実施（防災、都市計画、エネルギー、その他） ・フォーラム、シンポジウムの開催（初年度を想定） ・ケーススタディ
代表	高森 篤志（株式会社ソフトスケープ）
メンバー	五十嵐 憲一、内山 靖久、生沼 貴史、奥野 祐介、押野 和也、香川 誠、久新 信一郎、佐藤 潤、武井 秀爾、高橋 美香、中山 祐二、前道 美有、山口 重則
主たる活動場所	津波被害が想定される地方自治体 等
活動期間	平成27年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活動	概要	開催日	会場	参加数
1	第1回ミーティング	平成27年度の活動・スケジュールについて	5月22日	緑苑ビル201号室	11
2	第2回ミーティング	HUGの試行	6月25日	かでの2.7・760会議室	12
3	HUG見学	札幌市防災課主催のHUG研修の見学	7月27日	屯田北小学校	2
4	第3回ミーティング	研究会版HUGの実践について	8月10日	緑苑ビル201号室	10
5	第4回ミーティング	研究会版HUGの実践について	9月15日	緑苑ビル201号室	10
6	第5回ミーティング	HUGの企画と試行	10月26日	協議会事務所	8
7	HUGの実践	HUGの実践	11月28日	篠路会館	8

活動について

平成27年度は、茨戸南町内会を対象とした避難所運営ゲーム（HUG）の実施を中心に取組みました。

6月に研究会メンバー12名が参加し、防災ゲーム“避難所HUG”のシミュレーションを行い、7月に札幌市が主催で行ったHUG研修の見学、8～10月にかけて研究会版のHUGの実践に向けて試行錯誤を行い、11月に地元町内会で研究会版のHUGを行いました。

当日は、まず山口町内会長と高森座長の挨拶からスタートし、研究会メンバー佐藤さん（(株)シン技術コンサル）の進行で、①災害時の避難の考え方（最近起きた鬼怒川の氾濫を例に説明）②防災クイズ（昨年度の振り返り）③HUGの体験を行いました。HUGは、3テーブルに分けて行い、各テーブルに、研究会メンバーが進行係として1名、記録係として1名入り、ゲームを進めていきました。最後に、それぞれの検討事項に対して、各テーブルがどのように対応したのか確認し合い、高森座長の総括と山口町内会長の挨拶により、訓練を終えました。



防災ゲーム“避難所HUG”のシミュレーション



HUG実践の様子

マンション建替え支援研究会

活動内容	近い将来、大きな社会問題になると予想されている「マンション建替え」について、(一社)再開発コーディネーター協会のマンション建替え専門グループと一緒に、技術向上のための事例研究や情報収集を行い、マンション建替えの推進普及に努めるとともに、支援を希望する管理組合に建替えプログラムの現地指導やマンション建替え実施のコンサルティング参加も視野に入れた活動をする。
代表	武井 秀爾(個人正会員)
メンバー	大石 章夫、内山 靖久、岡本 浩一、押野 和也、葛西 政一、菅野 克、北川 好和、久新 信一郎、後藤 健夫、佐藤 市郎、八田 真勝、濱谷 雅弘、深澤 彰一、本間 寿幸、横山 幹人、吉田 潔
主たる活動場所	札幌市内のマンション管理組合を中心
活動期間	平成27年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活動	概要	開催日	会場	参加数
1	第1回ミーティング	平成27年度の活動・スケジュールについて	4月20日	緑苑ビル201号室	15
2	第2回ミーティング	早わかりマンション建替えパンフレットの改定と敷地売却制度について	7月21日	緑苑ビル201号室	8
3	第3回ミーティング	ロシアからの留学生対応について	7月8日	緑苑ビル201号室	5
4	第4回ミーティング	ロシアからの留学生とのマンション建替え等に関する意見交換	1月12日	緑苑ビル201号室	15
5	第1回マンション建替え相談	K団地の建替え相談(相談者2名)	2月23日	協議会事務所	6
6	第1回マンション建替え相談	K団地の建替え相談(相談者3名)	3月29日	協議会事務所	7

活動について

- ・平成27年度は、4回のミーティングと平成26年度に引き続き、マンション建替えに関する住民相談を2回行うことができました。
- ・平成28年1月には、ロシアからの留学生とマンション建替え等に関する意見交換を行い、日本とロシアとの状況・制度の違いなど一緒に勉強しました。

地域マネジメント研究会

活動内容	今年度の協議会の活動テーマを絡め、平成26度からの継続的な取り組みである”地域マネジメント”として、”地域の現状と課題を知る”取組と共に、”その対応に向けた検討”への、素案検討を行うことを目的とする。
代表	山口 重則
メンバー	高森 篤志、武井 秀爾、中山 祐二、能戸 裕之、山口 重則
主たる活動場所	協議会事務室
活動期間	平成27年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

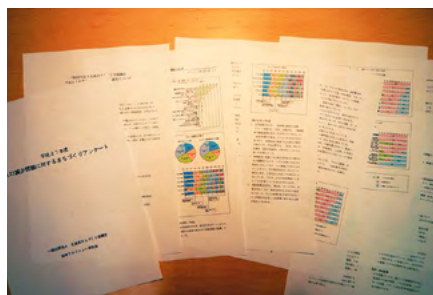
	活動	概要	開催日	会場	参加数
1	第1回ミーティング	平成27年度の活動・スケジュールについて	6月8日	協議会事務所	5
2	第2回ミーティング	市町村配付アンケート内容について	6月27日	YAM建築計画	5
3	第3回ミーティング	アンケート回収状況、集計作業について	8月11日	YAM建築計画	4
4	第4回ミーティング	アンケート回収状況、集計内容状況確認	8月24日	YAM建築計画	5
5	第5回ミーティング	まち研時の発表対応	9月19日	YAM建築計画	5
6	第6回ミーティング	考察等、まとめについて	11月12日	YAM建築計画	4
7	第7回ミーティング	アンケート回答市町村対応、次年度の活動について	1月19日	YAM建築計画	5

活動について

- ・平成27年度は、メンバーと共に7回のミーティングを行いました。
- ・平成27年度の協議会活動テーマである「人口減少への対応」として、「移住・定住対策」の現状を探りました。
- ・具体的には、「人口減少問題に対するまちづくりアンケート」として市町村アンケートの設計と実施、集計及び解析を行いました。
- ・結果、179市町村へアンケートを送付し、そのうち85市町村から回答を収集(回答率: 47.5%)しました。
- ・アンケートの設問は、7項目を設定し、集計・考察を行いました。
- ・アンケート回答より、「人口減少問題～移住・定住対策等」は各市町村の課題として範囲が広くその対策において苦慮している実情が読み取れました。



研究会ミーティング



アンケート報告書

再開発マニュアル研究会

活動目的 内 容	会員向け、再開発検討地区団体等向けの再開発事業推進のためのマニュアル作成
代 表	能戸裕之
メンバー	石塚雅弘、川瀬浩、久新信一郎、坂本行宏、武井秀爾、横山幹人、山口重則
主たる 活動場所	協議会事務室又は201会議室
活動期間	平成27年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活 動	概 要	開催日	会 場	参加数
1	第1回ミーティング	具体的な活動内容と今後の進め方	7月17日	協議会事務所	5
2	第2回ミーティング	再開発事業説明用資料概要について	8月7日	協議会事務所	6
3	第3回ミーティング	再開発事業説明資料作成ページ分担について	9月15日	協議会事務所	4
4	第4回ミーティング	原稿案のチェックと今後の進め方について	1月12日	協議会事務所	6

活動について

- ・過去に出版した再開発マニュアル本を将来的(2~3年後)に改訂する前に、その頭出しということでダイジェスト版を作成することとし、平成27年度は、4回ミーティングを行いました。
- ・ダイジェスト版の作成にあたり、北海道などの行政と情報交換や意見交換することで行政との関係再構築を進める機会にすることを確認しました。

2号研究会・小樽駅前地区整備支援研究会

活動目的 内 容	小樽駅前再開発事業（駅前再開発）により建築された小樽駅前ビルは完成後39年を経過し、5月の耐震診断結果を待って建物更新の計画づくりが求められている。また、同じ駅前再開発により整備された駅前広場も15年後の北海道新幹線の開通に合わせた機能の見直しが必要となっている。 しかし、地元協議会が結成されているが活動が鈍いため、駅前再開発後のビル管理を担うために設立された小樽駅前ビル(株)（まちづくり会社）としては、この課題に対する議論の活発化に寄与したいという思いで、当協議会に賛助会員として入会し協力を求めてきた。 このことから、本研究会では小樽駅前ビル(株)に協力し、小樽駅前地区の将来像の検討の場づくりや小樽駅前ビルの建物更新計画の作成の支援を行う。
代 表	大石章夫
メンバー	内山靖久、大場眞一、岡本浩一、尾作尚樹、加賀谷均、久新信一郎、沓澤和重、武井秀爾、中村清一、中山祐二、成田、能戸裕之、深澤照一、本居功光、森 哲子
主たる 活動場所	小樽駅前地区
活動期間	平成27年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活 動	概 要	開催日	会 場	参加数
1	第1回ミーティング	発足の経緯、目的、対象地区、活動予定、作業内容	5月20日	緑 苑 ビル201号 室	16
2	第2回ミーティング	小樽駅前ビル(株)と現地視察、意見交換	7月7日	現 地 及 び 小 樽 駅 前ビル(株)会議室	15
3	第1回コア会議	構想(案)の骨格検討	8月24日	緑 苑 ビル201号 室	6
4	第2回コア会議	土地利用構想及び拠点施設の図面検討	9月16日	協 議 会 事 務 所	4
5	第3回ミーティング	基本構想案について小樽駅前ビル(株)と意見交換	9月25日	小樽駅前ビル(株)会議室	12
6	第4回ミーティング	土地利用構想案の検討	10月19日	小樽駅前ビル(株)会議室	12
7	第5回ミーティング	土地利用構想案の検討	12月22日	小樽駅前ビル(株)会議室	13
8	第6回ミーティング	最終報告	2月9日	小樽駅前ビル(株)会議室	15

活動について

- ・今年度は、現地調査や小樽駅前ビル関係者との意見交換をもとに、土地利用構想案を作成、報告をしました。
- ・参加者は、小樽駅前地区の現状を理解することができ、その将来像についての考えも確認できました。



研究会ミーティングー小樽駅前ビル(株)との意見交換



小樽駅周辺の現地調査

(受託事業) 2号研究会・恵庭まちづくり支援研究会

活動目的 内 容	恵み野商店街活性化支援活動により得た技術や経験を生かし、恵庭市内に存在する街の中心地区（主に商店街とその通り）の再生を目指した住民活動の初動期を支援する。
代 表	大石章夫
メンバー	大場眞一、加納隆一、佐藤市郎、辻井 順、能戸裕之、森 哲子
主たる 活動場所	恵庭市内全域
活動期間	平成27年4月から平成28年3月まで

活動実績

	活 動	概 要	開催日	会 場	参加数
1	第1回コア会議	セミナー開催の企画検討	12月22日	協議会事務所	4
2	第2回コア会議	セミナー開催案の企画検討	1月6日	協議会事務所	5
3	現地打合せ	セミナー開催案の企画検討	1月12日	恵庭市役所	5
4	恵庭まちづくり セミナー	基調講演、事例紹介	2月16日	恵庭市民会館	38

活動について

恵庭まちづくりセミナーは、平成28年2月16日(火) 18:30～20:30に恵庭市民会館大会議室で、38名の参加を集め、開催されました。

大石会長による基調講演「にぎわいのある商店街の《通り》にするために」では、「エリアマネジメント」の取り組みは「育てること」で、住民・事業主・地権者等が主体的に進めることを語っていただきました。「自分たちがやりたいことから始めなければ、街なか《通り》のにぎわいは生まれません」ことを熱く語っていただきました。

能戸副会長からは「恵み野商店会の取り組み～自分たちで始めた活動の成果～」と題し、平成24年度から当協議会が支援しながら「話し合いによる取り組み事項の具現化と共有」を図り、事業を実施した経緯を紹介。「商店街マップ」と「スマホ専用サイト」の制作が好評で、商店街と住民の方々をつなぐツールになった事業の効果、緑のデザイン賞を獲得した恵み野ガーデンギャラリー整備事業では、合意形成や資金確保の話もいただきました。



恵庭まちづくりセミナーの様子



恵庭まちづくりセミナー 案内チラシ

まちづくり研修会

テーマ/“住み続けたいまち”～新たな移住・定住を考える

2015年9月29日 会場：(株)内田洋行札幌・ユビキタス協創広場 U-cala



平成27年9月29日(株)内田洋行札幌ユビキタス協創広場 U-cara において、「住み続けたいまち」～新たな移住・定住を考える」をテーマに、「平成27年度まちづくり研修会」が開催され77名のご参加をいただきました。

■ 1. 人口減少問題に対する市町村アンケート

(対象:全道179市町村・回答率47.5%・回答85市町村)

当協議会 まちづくり支援事業部会長の中山祐二氏から、人口減少問題に対する市町村の取組み状況の報告がありました。市町村の規模別で取組みの効果や課題に差がみられること、移住定住の取組みがトップ、基盤整備・育児支援・住宅支援について効果があることなどの報告があり、研修会テーマの背景が浮き彫りとなりました。



■ 2. 講演

【1】当別町 辻野浩氏

当別町での移住事業のトライアルについて話題提供をいただき、移住される方との交流を大事にした様々な取組みが紹介されました。「最後まで関わるのが大事」「住みつなぎをしっかりと」などの指摘がありました。



【2】厚沢部町 吉木美也子氏

吉木氏からは、素敵な過疎のまちづくりとして厚沢部での取組みが紹介されました。町のパートナーとし



での事業展開、入居される人を大事にした計画プロセス、そして「移住者を増やすではなく、満足して住み続けられるまちにすることが移住者を増やす」という発想が印象的でした。

【3】月形町 穴澤義晴氏

穴澤氏からは、月形町で若者の引きこもり支援の展開について第2のふるさとをつくる?困りごとを困りごとで解決」といった新しい視点での取組みが紹介されました。特に困りごとは地域では「しょうがない」と認識されがちなか中、事業を通じて「若者が地域でも必要とされるマッチングがあって、若者も変わってきた」という話は説得力がありました。



■ 3. 意見交換会



当協議会 常務理事の高森篤志氏の進行により意見交換会が行われ、①雇用や就業支援の心配、②医療福祉介護の確保、③住まいや住環境のニーズ、④コミュニティの問題(新旧の住民とのずれ違いなど)、⑤移住施策の連携の今後、5つの切り口から議論を深めました。

「移住対応はトータルな施策展開が必要(辻野氏)」「地域通貨で交流サービスも(吉木氏)」「祭りなどの地域行事に参画することが、迎え入れにつながる(穴澤氏)」など、移住問題を考えるコツやアイデアを出していただきました。

実践を通じたリアルな話題提供に、参加者も熱心に聞き入り、これからの移住問題の新たな展開を期待させる有意義なまちづくり研修会となりました。

[レポート：(株)プラッツ 辻井 順]

第1回 まちづくりゼミナール

テーマ / もみじ台地域を事例とした郊外ニュータウンの今とこれから

2015年7月28日 講師 | 岡本 浩一氏 | 北海学園大学工学部教授

平成27年7月28日(火)、緑園ビル2階201号室において、当協議会会員の北海学園大学工学部教授の岡本浩一氏を講師にお迎えし、「もみじ台地域を事例にみる郊外ニュータウンの今とこれから」をテーマに、平成27年度の第1回まちづくりゼミナールが、総勢14名のご参加をいただき開催されました。



人口減少と少子高齢社会の進展が、国の経済から個人の暮らしに至るまで多方面に様々な影響を及ぼしているなか、その影響が先んじて現れている高度経済成長期に計画・造成された郊外ニュータウンの現状を、もみじ台地域を具体的な事例に取り上げ、ご講師及びご講師のゼミ生の方々による現地での地域住民との意見交換や各種のアンケート調査あるいは地域行事への参加等を通じた実践的に取り組んだ研究内容を、1) 高齢者からみた地域の認識と今後の住まい方、2) 子育て世代からみた地域の認識と今後の住まい方、3) 空き地・空き家の実態と今後の活用方法の3つの視点からお話しをいただきました。

お話しいただいた内容では、調査・研究した結果、当該地域の居住環境の特性や、高齢者・子育て世代ごとで求める居住環境の条件や認識が異なる傾向があることや、多様な世帯間でのコミュニティ形成の課題などが紹介されました。

また空き地・空き家の現状では、その発生状況や、当該地域の地域内エリアごとにその発生状況に違いがあることなど、その実態が浮き彫りとなり非常に興味深い内容でした。

空き地・空き家に対する今後の利・活用の事例として、他地域での実践事例の紹介もあり、当該地区での今後の空き地・空き家活用へのヒントとなっていたようです。



実践しなければ知りえない貴重な地域住民の「住まい」への認識が紹介され、参加された皆様も熱心に聞き入っていたようで、大変有意義なまちづくりゼミナールとなりました。

〔レポート：岩田地崎建設(株) 内山靖久〕

第2回 まちづくりゼミナール

テーマ / スマートエネルギー社会の実現に向けた北海道ガスの取り組みについて

2015年11月18日 講師 | 伊藤 智徳氏 | 北海道ガス株式会社 スマートエネルギー推進部

平成27年11月18日(水)、緑苑ビル2階201会議室にて当協議会会員の北海道ガス株式会社 スマートエネルギー推進部の伊藤 智徳氏を講師にお迎えし、「スマートエネルギー社会の実現に向けた北海道ガスの取り組みについて」をテーマに、平成27年度の第2回まちづくりゼミナールが、総勢13名のご参加をいただき開催されました。



今回は、東日本大震災を契機に国のエネルギー基本計画が見直されたことを踏まえ、北海道ガス株式会社がどのような取組を行っているか、また、これからどのような取組を考えているかについてスライドを使いながらご講演をいただきました。

最初は、「国内のエネルギー政策動向」について、国のエネルギー基本計画の基本的な考え方であるこれまでの安定供給、経済性と環境性(3E)にエネルギーのセキュリティ(S)を加えた3E+Sの実現が求められていることや、コージェネレーションや再生可能エネルギーの利用促進など省エネルギーを推進するための方向性についてまとめられているとのことでした。

2番目には、北海道ガス株式会社が、このエネルギー基本計画を葉池に、来年度からの電力小売自由化、その翌年度からはじまるガス小売の自由化に対応していくための目指す方向性についてでした。北海道ガス株式会社では、コージェネレーションの活用し、省エネで快適な暮らしを提供することや再生可能エネルギーの導入、情報通信技術を活用したスマー

トエネルギーネットワークの構築を目指しているとのことでした。

その後は、コージェネレーションの普及拡大に向けた取組や、エネルギーマネジメントへの期待について話されました。

エネルギーマネジメントについては、北海道内の家庭におけるエネルギー利用実態として、関東地方の約1.6倍あることに着目し、家庭における暖房の省エネ化の推進が重要と考えているとのことでした。具体的な取組としては、エネルギー消費の見える化を図るために「家庭用エコ診断」を実施しており、社員の5%がこれらの診断士の資格を有しているとのことでした。



最後には、札幌市が進めている都心部におけるエネルギーネットワークの動向にふれ、再開発事業に合わせて自立分散型のエネルギー供給拠点の整備と熱導管・電力・ICTネットワークの構築を通して、都心エリア全体でのスマート化に貢献することを目指しているとのことでした。

参加されている方々にとっては、エネルギー戦略のトレンドにふれることができ、皆熱心に講演に耳を傾けていました。

〔レポート：武井計画 武井 秀爾〕

第1回 会員情報交流会

テーマ/再開発事業の進め方(段階毎の組織と役割)について

2015年6月24日 話題提供 | 武井 秀爾氏 | 個人正会員

平成27年6月24日(水)、緑苑ビル2階201会議室にて当協議会の勉強会の一環として、再開発プランナーである武井計画の武井代表に講師を務めていただき、第1回会員情報交流会が開催されました。



今回のテーマとしては、まちづくりに関心のある地域の方々、「再開発ってなんだろう?」、「どうやすすめるのだろうか?」という疑問にお答えする説明資料として、昨年からの作成に着手し、ブラッシュアップを進めている『再開発事業の進め方』をまとめたパワーポイント資料を、まちづくりを勉強する5名の学生を含めた総勢25名の参加者に聞きたいいただき、資料の完成度を高めるための意見交換を行いました。

説明を頂いた資料は3項目での構成となっており1項目めは「着手するまでの進め方」として、まちづくりの機運が高まった状況から、再開発事業へ着手するまでの進め方を、段階毎の地区の協議体のあり方・



目的・実施内容、行政の支援計画の関わりを説明し、初期段階のまちづくりを考える大きなエリアから、実際に再開発事業を行うエリアを絞り込んでいく流れを説明する内容となっています。

2項目めは「市街地再開発事業とは」というタイトルで、再開発事業の種類の説明、許認可等、種類毎の比較を行う内容で、都市計画決定、組合設立認可、権利変換の認可等、再開発特有の項目を中心に図表も多用し、具体的な説明を行う内容となっています。

3項目めとしては、再開発事業の具体的な事例を紹介することも、イメージを理解するのに必要になることから、実際に説明を行う時事・規模に合わせた事例を盛り込む内容で締めくくっています。



参加者からは、事業着手後の流れの説明も加えたほうが良いのでは?再開発事業とならないまちづくりへの支援の項目も必要では?プロ向けの資料の作成もあったほうがよいのでは?具体的な認可の要件は?などなど、様々な意見が飛び交い、今後資料の完成度を高めるための作業を進めていくことで結ばれました。

〔レポート: 岩田地崎建設(株) 久新 信一郎〕

平成28年 新年交礼会

2016年1月28日 会場：中村屋旅館

平成28年1月28日(木) 中村屋旅館にて、一般社団法人北海道まちづくり協議会の平成28年新年交礼会が行われました。

当日は41名の会員の皆様にご参加いただき、賑やかに交流することができました。



初めに当協議会の大石会長から、協議会の基本理念から始まり、取り巻く環境の変化から現在の状況等をお話しされ、新年の挨拶となりました。

宴は稲葉理事の乾杯で始まり、途中、法人正会員セコム株式会社様、株式会社バンテック様及び個人会員の中野孝志様の3名の新入会会員のお話をいただきとともに、指名による会員スピーチをする場面もあり、笑いの絶えない、大変楽しい新年交礼会となりました。



歓談中は、とにかく一か所にとどまることなく、多くの会員が席を移動しながら交流を深める姿が印象的でした。

最後に、岩崎理事の中締めのご挨拶と乾杯で閉会となりました。



北まちブログ連載企画 “THE 座談会～人口減少時代をかんがえる～”



和やかな会話が弾む座談会

当協議会の行動理念は「北海道の暮らしたいまちオンリーワンづくり」です。平成26年度からは「コミュニティ再生～地域マネジメントの視点から～」を継続的な活動テーマに据えています。これを受け、平成27年度の具体的な活動テーマを「人口減少への対応」とし、これに沿って諸活動に取り組んでいます。

当協議会ホームページの「北まちブログ」では、会員および広く一般の皆様に向けて各研究会・部会の活動状況などを中心に広報しております。今回、平成27年度の活動テーマ「人口減少への対応」にちなんだ連載記事を企画しました。

この企画は、迫り来る「人口減少時代」において、各専門分野で様々にご活動の皆様から、それぞれのお立場あるいは現場経験を通じ、日頃よりお考えの「人口減少時代のまちづくり」に関するご意見などを語り合っていただく座談会を開催しました。その内容を6回に分けて「北まちブログ」に掲載しました。



座談会開始前、資料に目を通すメンバー

9月18日に実施した座談会はお話しが弾み2時間ほどにおよびました。みなさんの肩の力を抜いたお話しからは、なるほどと思える意見やアイデアが数多く出て、部会員全員で当たったブログの編集作業もスムーズにおこなうことができました。

■座談会メンバー

◦ 生沼 貴史氏 (おいぬま たかふみ)
昭和62年2月生まれ。札幌市出身。株式会社ドーコン勤務、主に道内市町村における都市計画やまちづくり関連の業務。趣味：カメラや旅行、読書、映画・芸術鑑賞など

◦ 押野 和也氏 (おしの かずや)
昭和46年生まれ。北海道出身。日本データサービス株式会社勤務、企画部・建設コンサルタント業務(都市計画関連)。趣味：映画鑑賞、読書、音楽鑑賞、車、散歩ーまちなか歩き、お酒という具合に多趣味。猫派。

◦ 川尻 雅裕氏 (かわじり まさひろ)
昭和57年5月生まれ。千葉縣市川市出身、東京ディズニーランドから自転車で20分のところ。

一般財団法人日本不動産研究所 北海道支社勤務、専門役・不動産鑑定士。趣味：スポーツ全般、10歳からはじめたバスケットは今も続けている。北海道マラソン(フルではないが)に初出場。

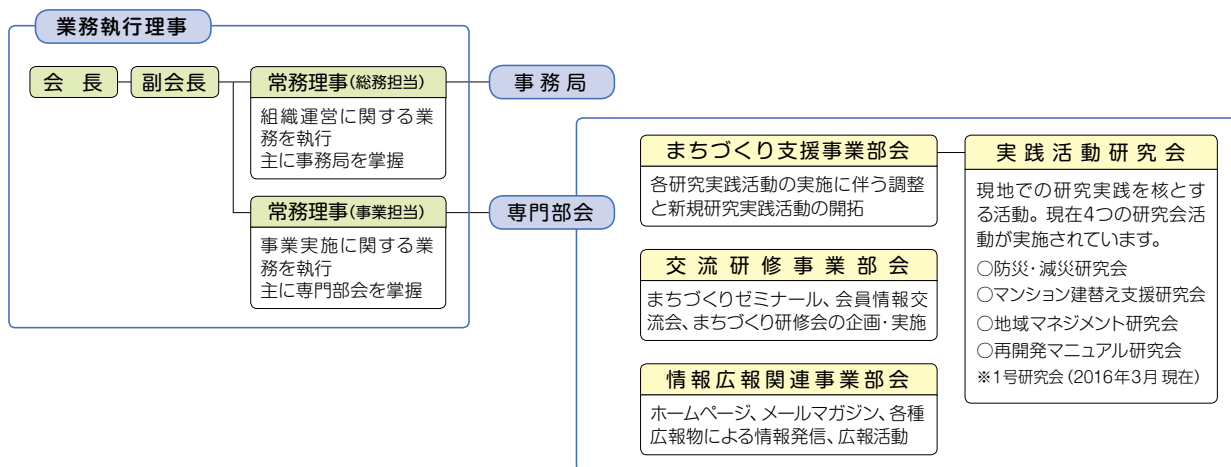
■司会進行

◦ 岡本 浩一氏 (おかもと こういち)
北海学園大学 工学部 教授



組織・役員

■ 組織 執行理事を中心に事業を推進し、会員の皆さまに専門部会や研究会活動へのご参画を募っております。



役員

特別顧問	上田 陽三	前社団法人北海道まちづくり促進協会 会長
顧問	森 哲子	株式会社クオリアット 代表取締役
相談役	濱谷 雅弘	北海道科学大学未来デザイン学部 教授
相談役	吉岡 宏高	札幌国際大学観光学部 教授
会長	大石 章夫	有限会社大石R計画 代表取締役
副会長	能戸 裕之	有限会社ジョブコム 代表取締役
常務理事	大場 眞一	株式会社シグマ都市コンサルタント 代表取締役
常務理事	高森 篤志	株式会社ソフトスケープ 代表取締役
常務理事	川瀬 浩	琴似4・2地区第一種市街地再開発事業個人施行者 事務局長
常務理事	山口 重則	YAM 建築計画 主宰
理事	稲葉 勝巳	一般財団法人日本不動産研究所 北海道支社 支社長
理事	岩崎 秀樹	株式会社ドーコン 取締役 執行役員 都市・地域事業本部長
理事	岩田 徳夫	岩田地崎建設株式会社 取締役常務執行役員 東京支店長
理事	西尾 吉博	伊藤組土建株式会社 常務執行役員 総務本部副本部長
監事	林 誠	株式会社北海道鑑定 代表取締役

事業部会長

まちづくり支援事業部会	中山 祐二	株式会社シン技術コンサル 都市施設部 次長
交流研修事業部会	坂本 行宏	有限会社ワイズデザイン アンド マネージメント 代表取締役
情報広報関連事業部会	岡本 浩一	北海学園大学 工学部 教授

事業内容

(1) まちづくり支援事業	各分野に関する調査研究、支援、提言	◎地域再生、コミュニティの形成・再生
		◎まちの産業再生・活性化、まちマネジメント
		◎多様な分野との連携をいかにしたまちづくり
		◎再開発やマンション建替え事業
◎実践活動研究会 ◎受託支援事業 ◎まちづくり支援相談		
(2) 交流研修事業	◎まちづくりゼミナール ◎会員情報交流会 ◎まちづくり研修会 等の実施	
(3) 情報広報関連事業	◎ホームページ、メールマガジン等による情報発信・広報	
(4) 環境への取り組み	地域の環境保全に貢献することを目的に、受託事業費の1%程度を活用し、環境や自然保全などに取り組む公益的団体等に寄付、支援等を実施	

【法人正会員】

2016年3月31日現在

	会員名	指定代表者
1	株式会社アークデザイン	代表取締役 加賀谷 均
2	株式会社アーレックス	代表取締役 林 秀樹
3	アルファコート株式会社	代表取締役 川村 祐二
4	伊藤組土建株式会社	執行役員 総務本部 副本部長 西尾 吉博
5	岩田地崎建設株式会社	取締役常務執行役員 東京支店長 岩田 徳夫
6	有限会社ウイステリア	代表取締役 藤井 基彰
7	有限会社大石R計画	代表取締役 大石 章夫
8	株式会社クオリアット	代表取締役 森 哲子
9	株式会社コムズワーク	代表取締役 竹ノ内 久
10	株式会社シー・イー・サービス	代表取締役社長 小室 裕一
11	株式会社シグマ都市コンサルタント	代表取締役 大場 眞一
12	清水建設株式会社北海道支店	執行役員支店長 谷口 寛明
13	有限会社ジョブコム	代表取締役 能戸 裕之
14	株式会社シン技術コンサル	代表取締役 志村 一夫
15	株式会社ズコーシャ	執行役員 総合科学研究所長 明石 憲宗
16	有限会社ステージ	代表取締役 北川 好和
17	セコム株式会社	札幌統轄支社長 本塚 直人
18	セントラルリーシングシステム株式会社	代表取締役社長 本多 貞直
19	株式会社ソフトスケープ	代表取締役 高森 篤志
20	大成建設株式会社	札幌支店 開発部長 中村 清一
21	タイムズ24株式会社	北海道支店長 鈴木 幾也
22	株式会社ドーコン	都市・地域事業本部 総合計画部 参与 石塚 雅弘
23	戸田建設株式会社札幌支店	支店長 山田 裕之
24	土地家屋調査士法人共生	代表 加藤 俊太郎
25	株式会社日本設計	札幌支社 支社長 目黒 裕史
26	日本データサービス株式会社	企画部 課長 山下 昌彦
27	一般財団法人日本不動産研究所北海道支社	北海道支社長 稲葉 勝巳
28	株式会社バンテック	代表取締役社長 佐藤 秀史
29	株式会社フージャースコーポレーション	北海道支店長 斎藤 誠
30	株式会社ブラッツ	辻井 順
31	株式会社豊多	総合計画部 まちづくり推進室長 川瀬 浩
32	北海道印刷企画株式会社	代表取締役社長 中村 宣隆
33	北海道ガス株式会社	執行役員エネルギー営業部長 山本 一夫
34	株式会社北海道鑑定	代表取締役 林 誠
35	街制作室株式会社	代表取締役 国分 裕正
36	丸彦渡辺建設株式会社	代表取締役社長 工藤 茂
37	株式会社宮川建設	代表取締役 入江 秀美
38	有限会社ワイズデザイン アンド マネージメンツ	代表取締役 坂本 行宏
39	和光技研株式会社	代表取締役社長 細川 康司

【個人正会員】

2016年3月31日現在

		会 員 名	
税理士等	1	司法書士・行政書士中嶋成美事務所	中嶋 成美
	2	中村和雄税理士事務所	中村 和雄
	3	土地家屋調査士	西田 政道
個人事業主	4	YAM 建築計画 主宰	山口 重則
	5	グラスハート・デザインズ 主宰	小林 道郎
一 般	会 員 名		会 員 名
	6	一戸 勝巳	18 中野 孝志
	7	岡本 浩一	19 中村 清司
	8	葛西 政一	20 西間 敏幸
	9	片岡 道宣	21 濱谷 雅弘
	10	加藤 見千子	22 深澤 照一
	11	加納 隆一	23 藤山 三冬
	12	後藤 健夫	24 本間 寿幸
	13	佐藤 市郎	25 松井 泰友
	14	須藤 公之	26 丸田 剛久
	15	武井 秀爾	27 吉岡 宏高
	16	堂 善之	28 吉田 潔
	17	富山 哲也	29 吉村 廣

【賛助会員】

	会 員 名	代 表 者
1	琴似 4-2 地区第一種市街地再開発事業個人施行者	代表 宮坂 美恵子
2	恵み野商店会	会長 小笠原 剛
3	まちづくり会社 小樽駅前ビル株式会社	代表取締役 山本 忠広

【特別会員】

	会 員 名	代 表 者
1	岩見 沢 市	市長 松野 哲
2	恵 庭 市	市長 原田 裕
3	雄 武 町	町長 中川原 秀樹
4	音 更 町	町長 寺山 憲二
5	帯 広 市	市長 米沢 則寿
6	俱知安町	町長 西江 栄二
7	滝 川 市	市長 前田 康吉
8	千 歳 市	市長 山口 幸太郎
9	苫 前 町	町長 森 利男
10	二セコ町	町長 片山 健也
11	函 館 市	市長 工藤 壽樹
12	東 川 町	町長 松岡 市郎
13	紋 別 市	市長 宮川 良一
14	利 尻 町	町長 保野 洋一
15	稚 内 市	市長 工藤 広

2015 年度末現在の会員数							合計	
法人正会員	39	個人正会員	29	賛助会員	3	特別会員	15	86



一般社団法人北海道まちづくり協議会

2015年度 活動報告書

〔発行〕

一般社団法人北海道まちづくり協議会

札幌市中央区北3条西7丁目-1 緑苑ビル2階

TEL.011-232-0926 FAX.011-222-5697

Email : info-ad@kitamachi.org

●お問い合わせ等はEメールでお願いします